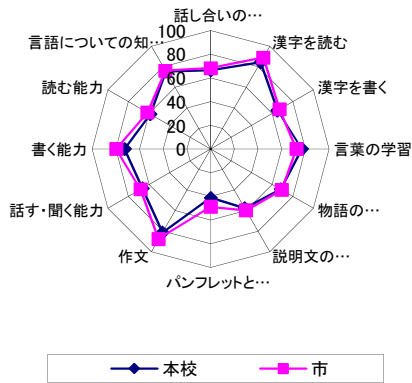


宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	66.3	68.2
	漢字を読む	84.4	89.0
	漢字を書く	65.1	67.0
	言葉の学習	77.1	72.3
	物語の内容を読み取る	68.2	69.2
	説明文の内容を読み取る	57.6	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	41.1	48.9
	作文	81.3	87.8
観点別	話す・聞く能力	66.3	68.2
	書く能力	72.5	79.5
	読む能力	58.7	61.5
	言語についての知識・理解・技能	75.5	76.2



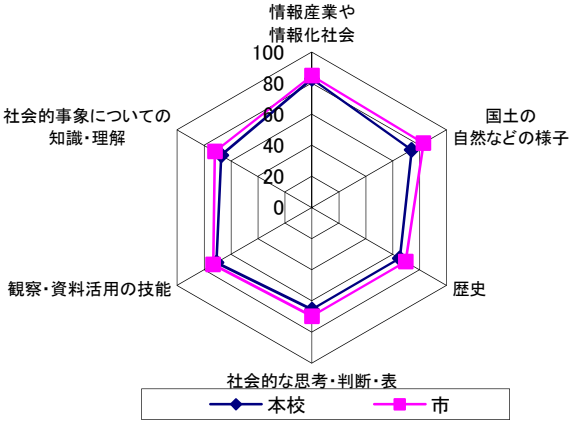
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	全体的に市の平均正答率を下回る状況である。話し合いの意図を考えながら話の内容を聞く設問は正答率が市の平均を上回っている。パンフレットと話し合いの内容を読み取る設問の正答率がやや低い。	話を聞く観点を明確化して大事なことを聞き漏らさないよう、メモを取る活動を授業に取り入れる。後にメモが正しいかどうかの確認をする。
漢字	市の平均正答率を下回った。漢字の読みでは「幹」、漢字の書きでは「永久」・「往復」の正答率が低い状況である。	ドリルやプリントを活用して、既習漢字の復習をさせる。また、既習の漢字を日常生活でも正しく書くことを習慣化し定着を図っていく。さらに、板書や教科書を書写などの活動もたくさん取り入れる。
言葉の学習	市の平均正答率を上回った。俳句についての設問はよくできている。尊敬語・謙譲語の使い方を学ぶ設問は正答率が低い状況である。	授業中だけでなく、学校の日常でも時や場、相手に合わせた話し方を意識させることで、尊敬語・謙譲語の使い方を定着させる。
物語の内容を読み取る	市の平均正答率を下回った。どの設問でも正答率が低い。	物語文の紹介を多くし、日常の読書活動をさらに奨励して、物語の面白さを味わわせていくようにする。
説明文の内容を読み取る	市の平均正答率を下回っている。文章の内容に合う具体例を選ぶ設問での正答率がやや低い。文の構成を的確に押さえながら読み取る設問の正答率が高い。	文書の内容を読み取り、ほかの例に当てはめて考えることができるように、日常的な得着活動の中で、説明的文章にも触れるよう促す。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	市の平均正答率を下回っている。資料と話し合いの内容を正しく読み取って考えたり、適切に文を書き加えたりする設問は正答率が低い。	筆者の考えや意見をまとめる活動を学習に取り入れ、文書を要約する機会を設けて指導する。
作文	市の平均正答率を下回っている。指定された長さや構成を守り、自分の意見と理由を区別して書くことができていないようである。	作文を書く活動では、たくさんの題材を示し、その上で基本的な書き方を確認し、形式に合わせて書く練習を行う時間を少しでも取るようにする。

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	82.6	84.7
	国土の自然などの様子	74.0	82.7
	歴史	65.2	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	65.5	69.9
	観察・資料活用 の技能	70.8	73.3
	社会的な事象についての知識・理解	67.2	71.9



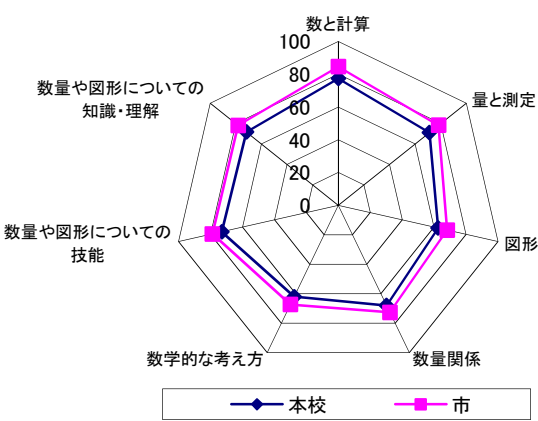
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	市の平均正答率を下回った。情報ネットワークについて、コンビニエンスストアを例に考察する設問が低い正答率だった。	日常生活の中で、新聞・テレビ・インターネットを利用する際のメリット・デメリットを確認し意識化を図る。また、学校ではコンピューターに触れる機会を多くする。
国土の自然などの様子	市の平均正答率を下回った。環境を守る取り組みについて判断する設問の正答率が低い。	現在の環境問題などに興味をもつきっかけになるよう、積極的に話題を提示し、環境問題についていろいろ調べる機会を増やしていく。
歴史	市の平均正答率を下回った。資料同士の関連を問われるような活用問題の正答率が低い。特に「天皇中心の国づくり」や「江戸時代の文化と学問」の正答率が低い	復習のプリントを活用する。また、資料集などを活用し、多くの関連資料を目にする機会を確保する。

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	77.3	84.6
	量と測定	71.1	78.3
	図形	62.5	68.2
	数量関係	67.9	72.6
観点別	数学的な考え方	62.0	67.3
	数量や図形についての技能	72.9	78.9
	数量や図形についての知識・理解	71.7	78.2



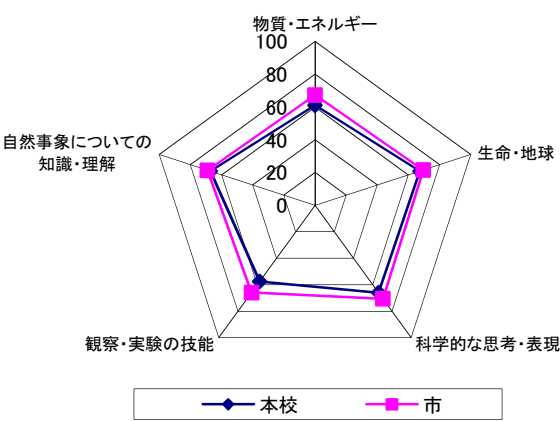
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	市の平均正答率を下回っている。図を使って、分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ正答率が低い。	ドリルやプリントを活用して、文章題に取り組む機会を増やす。
量と測定	市の平均正答率を下回っている。速さの単位の関係を理解し、時速を分速に直す設問での正答率が低い。	速さの意味や求め方が十分理解できるよう、プリント学習を通して事柄を取り上げて指導していく。
図形	市の平均正答率を下回った。線対称な図形の対応する点を見つける設問の正答率が低い。また、円の半径円周を求める式を問う設問の正答率が低い。	ドリルやプリントを活用して、円や円柱に関連して円周を求める問題に取り組む機会を増やす。
数量関係	市の平均正答率を下回った。等しい比を選ぶ設問の正答率が低い。	ドリルやプリントを活用して、等しい比を選ぶ問題を多く解き、問題に慣れさせる。

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	61.1	67.3
	生命・地球	67.4	69.5
観点別	科学的な思考・表現	66.1	70.6
	観察・実験の技能	57.5	65.9
	自然事象についての知識・理解	67.1	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	市の平均正答率を下回った。特にふりこの1往復する時間の求め方を問う問題や個体が溶けた2種類の水溶液を区別する方法の正答率が低い。	プリントなどを活用して資料を読み取り、計算する力をつけさせる。また、それぞれの水溶液の性質を確認する。
生命・地球	市の平均正答率を下回った。「動物のからだのはたらき」の正答率が低い。	実験や観察のできない学習内容については、模型や映像資料を使って視覚に訴え、イメージしやすくする。